



がん高度実践看護師WG講演会 in Tokushima
2025年度がん看護インテンシブコースⅡ

「がん医療の新たなニーズやアンメットニーズに
応えるケアの質向上を推進する看護師養成」

遺伝/ゲノム医療に対する高度な看護実践



松本 恵 先生 10:05～11:05

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍外科)

「がんゲノムと遺伝性腫瘍の現状と展望…と熱いメッセージ」



竹内抄與子先生 11:10～12:10

(岡山大学病院 臨床遺伝子診療科 がん看護専門看護師)

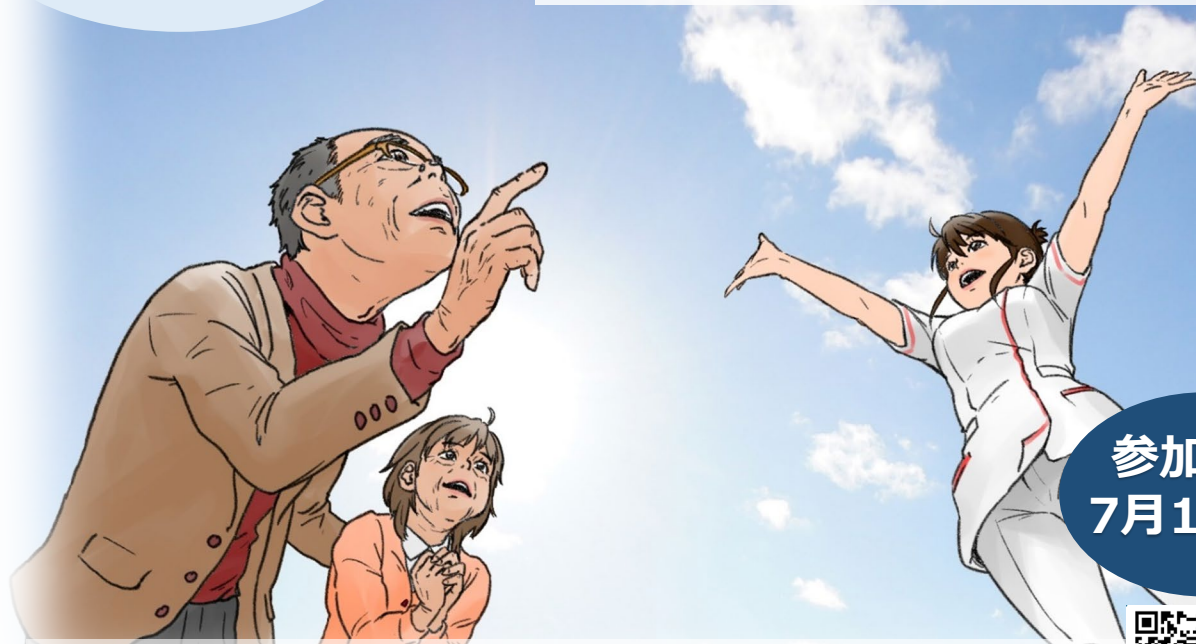
「遺伝/ゲノム医療に対するがん看護専門看護師の役割」

2025年7月26日(土)

10:00～12:30

WEB開催

※**参加費無料**ですが、**事前申し込み**が必要です
(先着80名様まで)



**参加締切
7月12日まで**

参加申し込み方法：下記URLまたは、右記のQRコードを読み取ってお申し込みください。

※ご所属、氏名、職種、メールアドレスの登録が必要です。

<https://forms.office.com/r/G8CyJfi3u7>



主催：高知県立大学大学院看護学研究科 徳島大学大学院医歯薬学研究部保健科学研究部
山口大学大学院医学系研究科保健学専攻 鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻

■講師紹介

松本 恵 先生

長崎大学をご卒業後、2005年より乳腺外科医としてご勤務され、2012年からは遺伝性乳癌卵巣癌で知られるBRCA遺伝子との出会いから、遺伝性腫瘍診療にも関わり始められました。現在では、日本乳癌学会や日本遺伝性腫瘍学会など「がんと遺伝」の両方の領域に関わりながら、市民や子供達への啓発にも尽力されております。

■内容

生涯2人に1人以上が罹患するがん、その原因は遺伝子の異常です。がんと遺伝子を含むゲノムは切り離せません。遺伝子の検査により体質がわかる時代となり、医療の進歩によりできることが増え、同時に葛藤も増えてきます。そこを理解し寄り添う必要性をお話しします



■講師紹介

竹内 抄與子 先生

2010年に岡山大学大学院保健学研究科博士前期課程修了され、大学病院・総合病院・がん専門病院にて緩和ケア病棟や外来化学療法室などでがん看護に従事されておりました。2015年にがん看護専門看護師の資格を取得された後は、2014年に遺伝子診療部に勤務したことをきっかけに遺伝性腫瘍やがんゲノム医療に関わり現在、日本がん看護学会遺伝がん看護SIG副代表としてもご活躍されておられます。

■内容

がん患者さんに関わるときに役にたつ基本的な知識と遺伝性腫瘍やがんゲノム医療に関わる中で経験したこと・患者さんやご家族との出会いを通して、実感している看護が果たす役割についてご講演頂く予定です。

